

14.4.1

千客万来

第13号

〇〇挨拶

「さまさまの事思ひ出す桜かな」

〇〇無沙汰ばかりいたしました。〇〇一家

皆様にはいかがお過ごしでしょうか。〇〇

か。〇〇伺い申し上げます。

昨今は、ぶどうの収穫が予想より遅れまし

て、大変〇〇迷惑をおかけいたしました。

その上、いつもの不手際も減りませす。な当

に済みません。でーた。

それにも拘わりませす。温いお言葉やお便

りなどを、いただきまして誠にありがたうござ

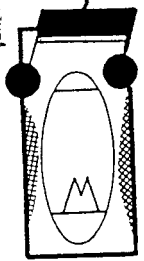
います。

若くは、お違の手助けも得ながら、一つずつ改善

して参ります。どうぞ変わります。す。

本年もよろしくお祈り申し上げます。

皆様
からの
声



●食味は好評・外観に問題

・完熟を待つて収穫をしたため、食味は大変

好評でした。けれども、過熟気味になった

房は、外観に問題(変色・しみ・汚れ)が

おきました。

・化学肥料を使わなかったため、樹勢がらくなる

粒の大小差を生じたものもあり、その

〇〇指摘もありました。

巨大粒化を図れば、食味の低下が伴い

化学肥料の使用も避けられなくな

ります。

大気を使つておりますが、尚一層の

研究と努力が必要です。

●単一品種か各種詰め合わせか

・人気NO.1は瀬戸ジャイアント(桃太郎

ぶどう)。これとアモーレの組み合わせ

が、

今年の抱負と課題

世界・日本・そして私達を取り

巻く経済事情・農産物の生産

消費の事情等の厳しさは、今年も緩和さ

れそうにありません。

農業は輸入農産物や国内産地間競争

の激化・円安からの生産資材の上昇等、

益々厳しくなると思います。

我が家では、可能な限り安価で新鮮・美味

そして何となく安全なぶどうをお手元

にお届け出来るよう、励みたいと思っております。

更に皆様にご信頼され可愛がられて生き

残れる園いしなればと思っております。

大変な課題です。どうか皆様の本音を聞

かせて下さいませ。そしてお礼も拝借さ

せていただければ幸いです。

近以内にEメールが

出来るようになります



ニュースを二つ……

(その一) 瀬アジャイアンツ(桃太郎

ぶどう)を、昨日も皇居へお送り

下さった友人から、大変お喜びになられたと

ご連絡を受けました。学習院時代に陛下

の学友でいらした方を通してお届けしました。

自由にお送り出来ると思います。

(その二) イタリアから料理関係の視察団が

二〇名ばかり、来岡。倉敷のホテルで桃

太郎ぶどうを品上げられた時に一言、

『ぶどうはイタリアが量も質も世界一だと自

負しては、日本に世界一お返しは、ブドウがあ

った。』と敬慕されたそうです。

『このぶどうの育種者に会いたい。』とも言

われたそうです。が日程の調整がつかず、帰

国されませんでした。残念でした。

この評価に恥じない桃太郎ぶどうを皆

様にお届けしなくてはと責任を痛感していま

す。



新品種の開発

今、二次選抜・三次選抜をすすめている。多くの実生の中から選んだ個体を、更に特性を発揮させる管理を継続していき、黒いピテロ型のぶどうが出来るとも知らないと期待しています。

また、新規交配種計画も立てており、若手農業者数名が育種の後継者として名乗りを上げてくれ、夢が広がっています。息子達も交えて手法を学んでくれたらと願っています。



?????
狂牛病? まさか?
畜産物の質や安全性が問われている昨今です。

安さを求める果物や野菜の輸入も同じ危険を感じます。

だからこそより安全で
美味なブドウ作りに挑戦しなければと研究しております。

現在ぶどう園は

今年は一旬早い陽気に誘われ桜と同じように成育が進みハウスでは芽が伸び始めました。毎朝ハウスの様子を見に行き、新芽の伸びる姿に感動を覚えます。

「今年こそもっと素晴らしーいブドウに育てるぞー」と思わず手に力が入ります。
二月は剪定を終え堆肥を使って土作りをしました。

三月は粗皮剥ぎ、巻きつる取り等越冬病虫害の駆除にひとあし。

四月は新芽が一斉に伸び始めるので芽かぎをします。一平方メートル当たり五、六本花になるように余分な芽を取り去ります。残した枝は十分な養分供給と光合成

に恵まれ、ぶどうが稔る基礎体格を作ります。

五月は、房づくりです。一房に千粒余りついている蕾を整形し、数粒の蕾にして実止まりをよくします。

六月は、粒間引をし、一房の粒数を整え房の大きさを決めます。

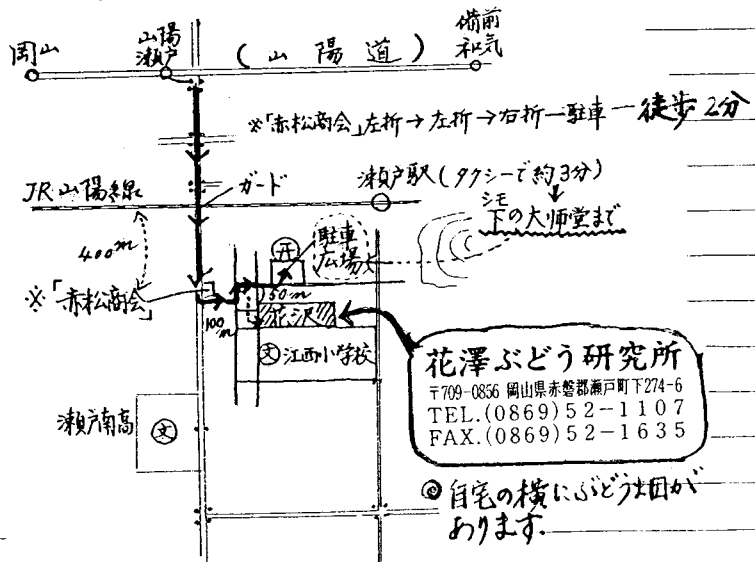
七月頃より着色が始まり、八月末に収穫を迎えます。

「お父さん、もう芽の出ている樹がありませんね。」

「太陽が出ると温度が急上昇し、少いでも雲にかざれると温度ぐらゝすぐ下がるのですね。」と、植物を可愛がる心の育つてゐる恵子は、細く観察しながら手伝ってくれます。

大変なハウスの管理も、ずぶん楽をしてくれます。恵子のおかげで。

山陽ICを降りて約5分です!!
 (ICをおりたら右折 約2km 直進「赤松商会」まで)



主人から原稿をもらったのは一月でしたのに
何度か揉み捻の文章を書き直したと
でしよう。気を取り直して。

パソコンで打とうかしら……
と話しましただが、主人にも恵子にも却下
されまーた。

「病気で寝込むとか、字が書けないとかいう
状態なら別だけど」と。

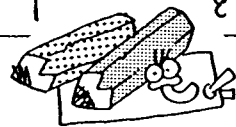
本気でそうなんですよね。辞書も引け
るし眼鏡をかければ見えるのですから。

途中まで書きかけてしまっただけで

めとはお便りでも書くつもりで気楽に
書くことにしました。研究とは縁のな

い話ですが人間リラクス出来ること

また次の元気が湧いて来
ますもの。



自分から始めたこのお便りですが、
重荷になり始めました。どうしたの
でしよう。今回は特に。

きくとおどのうの事がよく分からなくなっ
てきたように書かなければならぬ事
が苦しいのでしよう。私にとては。

勉強が足りなからだと主人の声は聞
こえません。五〇名ものお客様

「果樹栽培を楽しむ会」の比留さんのホラン
ティア。アルバイトして下さるお友達の方

力。無償で手伝って下さる親友の慰め

等々我が家は多くの比留様に支えられて
成り立っています。ありがたうございませう。

そして何より力強い味方は恵子の明る
い一言です。「お母さん大丈夫ですか？」と。